

2020年(令和2年)

4月23日  
(木曜日)

THE KENSETSU MIRAI TSUSIN

# 建設未来通信

茨城全県版

発行所：茨城県水戸市笠原町1523-3  
桂ビル2階  
TEL:029-291-8855 FAX:029-291-8854  
https://www.kensetsumirai.co.jp

新聞購読料 月額6,000円(税別)  
電子版購読料 月額1,500円(税別)

kensetsumirai.co.jp

茨城県水戸市笠原町1523-3 桂ビル2階 建設未来通信

## フィニッシャーICT舗装を披露 県土木部発注の現場初

小貫建設(株)／関東道路(株)

小貫建設(株)(結城市)は16日、協力企業の関東道路(株)(筑西市)とともにフィニッシャーによるICT施工舗装工事を行った。県土木部発注の現場では初となる実施で、県筑西土木事務所の職員などが視察した。

現場は県筑西土木事務所発注の「31国補地道第31-03-488-0-004号道路改良工事」(結城市芳賀崎)で、小貫建設が受注。協力企業の関東道路が導入した3次元マシンコントロール(MC)のフィニッシャーによるICT舗装施工を実施した。関東道路ではMCグレーダーも導入しており、同現場でも路盤施工に活用されている。

自動制御されたフィニッシャーによる高精度な

施工を見学し、ICT舗装工の施工手順やメリット、留意点を学んだ参加者は「施工品質が高い」「グレーダーとフィニッシャー両方のICT施工は画期的」などと感想を述べた。

小貫建設の小貫勝重代表取締役は「今まで通りのことをやっているだけでは若い人が離れてしまう。新しい技術を取り入れ生産性を向上し、若手

の育成や女性の参入につなげていきたい」と話し、現場代理人の佐谷大樹氏は慣れるまで工程管理に注意が必要だが経験を積み重ねることにより工期の短縮や人件費の削減が期待できるとメリットを挙げた。

関東道路の武藤正浩代表取締役は「今回作業したオペレーターは入社4年目。同規模の工事では通常10年ほどの経験が必要」とし、ICTの活用により若手のモチベーション向上と教育期間の短縮により企業にとっても生産効率が上がると語る。同社では3次元レーザースキャナーの導入やICT建機の保有を増やすことにより一括したサポートができる体制を整える考えだ。

